

第19回相模原市行財政構造改革本部会議 会議録

日時 令和3年4月20日(火)午後3時30分～午後4時00分

会場 第1特別会議室

出席者 市長、下仲副市長、隠田副市長、森副市長、教育長、市長公室長、市長公室理事、総務局長、財政局長、危機管理局长、市民局長、健康福祉局長、こども・若者未来局長、環境経済局長、都市建設局長、緑区長、中央区長、南区長、教育局長、消防局長、議会局長

開会のあいさつ

1 相模原市行財政構造改革プランについて

事務局より、議題について資料に基づき説明。

<主な意見等>

市長あいさつ文について、本文の記載と重複する箇所については、記載しなくてもいいのではないか。また、「経営評価委員会」という記載については、外部委員会であることが分かるような記載があったほうがいいのではないか。(こども・若者未来局長)

本文46ページの職員の人材育成に係る記載について、重複している表現もあることから、表現を工夫したほうがよいのではないか。(こども・若者未来局長)

本文1ページで、本市の財政構造の主な特徴点として、普通建設事業費に係る記載があるが、市民一人当たりの普通建設事業費が指定都市中低い方から1位であることは、行財政構造改革プランを策定する要因にはならないのではないか。(緑区長)

本文23ページの銀河アリーナの記載について、施設の維持管理費用の掛からない手法として、クラウドファンディングの活用等の調査・検討を行うように読めるので、それぞれが並列の関係になるように表現を工夫したほうがよいのではないか。(隠田副市長)

本文50ページの公費負担に関する記載について、「市税という形で広く市民が負担している」という表現は、市税を負担している市民と市税の負担をしたくてもできない市民とを色分けし、市民を分断するものであると考えられるので、こうした記載をする必要はないのではないか。また、その記載が無くとも、「公費負担」という記載で意味が通じると考えられる。(森副市長)

本文22ページの淵野辺駅南口まちづくり事業の方向性については、市民検討会が動いている中では、「市民検討会の検討結果を踏まえて取り組む」という記載でよいの

ではないか。(森副市長)

基礎自治体である市が行う行財政構造改革は行政が市民と一緒に進めていくものであるから、市民の理解を得る必要があり、現状をよく踏まえて、市民の信頼感を損なうような表現が無いようにしたほうがよい。(森副市長)

いろいろな意見をいただいたが、本部会議の議論としては今回をもって最後とし、今回いただいた意見を踏まえて、事務局で最終案をとりまとめ、市長に「相模原市行財政構造改革プラン」として決定をしていただくことでよいか。(下仲副市長)

(異議なし)

2 その他
特になし

以 上